



ミミズって怖くないの?



えっ…ちょっと怖い…  
ほんとに大丈夫なん?



触れた!



Cくんが触れてる…

### エピソード

園庭に置いてあった虫かごの中でニョロニョロと動くミミズが顔を出したのでA児が「ミミズや!」と嬉しそうに言い、指でつまんで見せ虫かごに戻しました。保育者も指でつまみ見やすいよう掌にのせてみました。その様子を見たB児とC児が顔を見合わせました。A児「こわくないよ」保育者「触っても大丈夫だよ」と言って虫かごに戻し指で優しく触って見せB、C児に虫かごを差し出してみると、少しの間2人とも不安そうな表情でミミズの様子を見ていました。するとC児が指を恐る恐るミミズの方へ人差し指を伸ばしツンと軽く触って見たのです。少し驚いた様子で「うわぁ」と言うと触られたミミズがクネクネ動きました。それを見たB児は戸惑っている様子でミミズをしばらくみていました。A児がもう一度「かわいいで」とニコニコしながらつまんで自分の掌にのせ見せると、C児はまだ少し緊張しながらミミズの様子をみていましたが、心に決めた様子でもう一度指先で触れてみました。思わず「うわぁ」と声が出ましたが表情が一変し、嬉しそうに次は指でつまんで見せました。B児「えっCくん触れたん!!怖くないの?」と驚き、少しの間ミミズの姿とC児の顔を交互に見ていました。そして決心したような表情で掌をミミズの下に恐る恐る差し出してみました。C児がそっとB児の掌にミミズを乗せると一瞬腰が引けたB児でしたが、ミミズがのった掌をゆっくり見て「触れた…ちょっとこしょばいけど」と言って嬉しそうに笑っていました。

### 保育者の思い

- ・初めからB、C児に対し積極的にアプローチしてミミズに触れるよう気持ちを促していくのではなく、少しずつ「ミミズって怖くないのかも…」と自分から触ってみようかなという思いになってほしいと友達や保育者が平気に触っている姿をさりげなく見せてかわるようにはしました。
- ・焦らずに見守るという援助で、B児の気持ちに変化が生まれ、B児の気持ちの変化と様子がまたC児の気持ちに変化をもたらしていたという気持ちの変容とそれに伴う表情が面白くてこのエピソードを書きました。

### 子どもの育ちや学び

- ・自分だけの世界だったのが、周りの様子に目が行くようになって少しずつ友達を意識し始めるようになってきています。そして自分も友達と同じことをしてみたいという姿がでてきました。
- ・B児やC児が保育者や友達という、「人」とかかわること(人がしている様子を見たり、話していることを聞いたりすること)で様々なことを自分で感じています。そのことを受けて考えたり迷ったりの葛藤する様子がでていて、気持ちの葛藤は後の行動に大きく影響して子どもたちを成長させていることがあらためてわかりました。
- ・保育者がいろいろ言葉をかけたり手助けをしたりせずに見守ることが自分で考えることにつながり見守ることの大切さを改めて感じました。

### 家庭だったら

「こうしたらいいのに」と私たち大人はつつい手を貸してしまったり、口を出してしまったりしてしまいます…。それを少しだけ我慢して、一緒に遊びながら子どもの行動や表情をみてみませんか? 子どもなりに何かを感じたり考えたりしている心の様子が見えてきて、とても興味深いですよ。